

Jリーグスタジアム基準 [2020年度用]

凡例
 ◎=必ず具備しなければならない条件
 ○=必ず具備しなければならない条件であるが、「Jリーグクラブライセンス交付規則(運用細則)」および「Jクラブライセンス交付規則」規程第101の附則適用が認められた場合はその限りではない
 ★★=員数が必要とされるものの、期間については今後検討を続けていく条件
 ☆=具備することが望まれる条件

必須とされる設備	内容	J1・J2基準	J3基準		
1.スタジアム形状	フットボールスタジアムであること 原則としてメインスタンドは西側に配置すること	★★★	★★★		
2.入場可能数 ※	J1は15,000人以上、J2は10,000人以上(芝生席は観客席とはみなさない) J3は原則として5,000人以上(メインスタンドに椅子席があること。なお、芝生席は、安全性等についてJリーグが検査し、特段の支障がないと認められる場合には、観客席とみなすことができる)	○	-		
I スタジアム規模等	(1)観客席	どの座席からも、ピッチ全体が見渡せること	◎	◎	
		各スタンドは、異なるセクターに分隔できること	◎	◎	
		椅子席で、J1は10,000席以上、J2は8,000席以上の座席があること(ベンチシートは1席あたりの幅を45cm以上とする)	○	★	
		大容量高速通信設備(高密度Wi-Fi等)が利用できること	★★★	★★★	
		全席個室であること(ACLは5,000席以上の個室で、番号が付付けられ、背もたれが必須)	★★★	★★★	
		すべての座席に番号を分かりやすく付けること(ACLはすべてのチケットに席番号が必須)	★★★	★	
		新設及び大規模改修を行うスタジアムについては、寒冷地では必要に応じて暖房を備えること	★★★	★	
	(2)車椅子席	応援の横断幕や広告バナーを掲出できる壁面には、取り付け用のフックをつけること	★	★	
		スタンドから直接ピッチに降りられる避難動線を確保すること	★	★	
		介助者の椅子を備えること	◎	◎	
		観戦の際の安全が確保されており、特に前列の観客により視野を妨げられないように設置すること	◎	◎	
		雨に濡れないこと	★★★	★★★	
		ホーム・ビジターに分けて設置すること	★★★	★★★	
		大容量高速通信設備(高密度Wi-Fi等)が利用できること	★★★	★★★	
(3)VIP席	新設及び大規模改修を行うスタジアムについては、寒冷地では必要に応じて暖房を備えること	★★★	★		
	メインスタンド中央部でスタジアム全体が見渡せる位置に屋根付きで個室を設置すること	◎	◎		
	大容量高速通信設備(高密度Wi-Fi等)が利用できること	★★★	★★★		
	50席以上設置すること	★★★	★		
	80席以上設置すること	★	★		
	車椅子のVIP席を設けること	★	★		
	メインスタンド中央部でスタジアム全体が見渡せる位置に屋根付きで設置すること	◎	◎		
(4)マッチコミッション席	机付きで4名着席でき、ピッチの音が聞こえること(マッチコミッション、補助員、審判アセッサー、副審アセッサー)	◎	◎		
	テレビモニターを設置すること	◎	◎		
	新設及び大規模改修を行うスタジアムについては、寒冷地では必要に応じて暖房を備えること	★★★	★		
(5)記者席	LAN回線、共聴回線を設置すること	★	★		
	メインスタンド中央部でスタジアム全体が見渡せる位置に屋根付きで設置すること	◎	◎		
	ノートパソコン、ノートが置ける十分な広さの机と電源を設置すること	◎	◎		
(6)ビジネスシート	80席以上設置すること	★★★	★		
	大容量高速通信設備(高密度Wi-Fi等)が利用できること	★★★	★		
	新設及び大規模改修を行うスタジアムについては、寒冷地では必要に応じて暖房を備えること	★★★	★		
(7)スカイボックス	ビジネスラウンジを備えたビジネスシートを複数設置すること	★★★	★★★		
	個室のラウンジと観客席を備えたスカイボックスを複数設置すること	★★★	★★★		
4.屋根	新設及び大規模改修を行うスタジアムについては、原則として屋根はすべての観客席を覆うこと すべての観客席を覆うこと(観客席の3分の1以上が覆われていること。Jリーグクラブライセンス交付規則 施設基準 B等級)	◎	★		
5.雷保護設備	屋根または照明に雷保護設備を備えていること	◎	◎		
6.照明	ピッチ内いづれの箇所においても照度1500ルクス以上の明るさを保持し、均一であること ACLは2021シーズンから1800ルクス、決勝は2000ルクスが必須 色温度 5000～6200ケルビンであること	◎	◎		
II 競技用設備	1.ピッチ	(1)寸法	105m×68m	◎	◎
		(2)天然芝もしくはJリーグが認めたハイブリッド芝 ※	平坦であること 常緑であること 水はけが良いこと	◎	◎
		(3)フィールド	フィールド(ピッチおよびその周辺部分)には、選手のプレーに影響を与え、または危険を及ぼすおそれのある物は一切放置もしくは設定してはならない	◎	◎
		(4)予備エリア	原則としてピッチの外側にそれぞれ5m以上、ただし陸上競技兼用の場合はそれぞれ1.5m以上(したがって、陸上競技兼用の場合は縦長108m以上、横幅71m以上の芝生部分を確保すること)	★★★	★★★
	2.ゴール	白色丸形(外径の直径が12cm)で、埋め込み式	◎	◎	
		ボールを反発する補強材を使用しないこと	◎	◎	
	3.ゴールネット	白色以外はJリーグに申請すること	◎	◎	
	4.コーナーフラッグ	ゴールネットはゴールの後方にボールを立て安全な方法で取り付けること	◎	◎	
	5.コーナーフラッグポスト	Jリーグ指定のものであること	◎	◎	
	6.ライン	Jリーグ指定のものであること	◎	◎	
	7.ベンチ	(1)チームベンチ	幅12cmとし、明瞭に引くこと(原則としてペイント方式)	◎	◎
			14名以上(ACLは20名)着席できること	◎	◎
			ピッチのタッチラインから5m以上離れ、かつ、その一端がハーフウェイラインから10m以内にかかる位置に設置すること	◎	◎
			ホームチームのベンチは、原則としてメインスタンドからピッチに向かって左側に設置すること	◎	◎
(2)第4の審判員ベンチ		チームベンチの前面(ピッチ側)には、テクニカルエリアを設置すること	◎	◎	
		クーリングブレイク時、ベンチ内でスポーツドリンクの飲水が可能であること	◎	◎	
		安全が確保された屋根を備えていること(観客の視野を妨げるものであってはならない) ただし、観客席に組み込まれ、スタンドを覆う屋根により雨に濡れない場合はベンチの屋根は不要とする 屋根は透明であること	◎	◎	
3名が着席できること	◎	◎			
2.ゴール	機付きで、出入りができるスペースを確保すること	◎	◎		
3.ゴールネット	AED、担架(2台)、頭部頸部の固定可能な担架(2台、J3は1台)を設置すること	◎	◎		
4.コーナーフラッグ	試合中に救急車が待機している場合、頭部、頸部固定可能な担架は救急車車載のもので良い	◎	◎		
5.コーナーフラッグポスト	クーリングブレイク時、ベンチ内でスポーツドリンクの飲水が可能であること	◎	◎		
6.ライン	安全が確保された屋根を備えていること(観客の視野を妨げるものであってはならない) ただし、観客席に組み込まれ、スタンドを覆う屋根により雨に濡れない場合はベンチの屋根は不要とする 3名が着席できること	◎	◎		
7.ベンチ	屋根は透明であること	◎	◎		
8.場内放送システム	全てのエリア(観客席、諸室、コンコース、ピッチレベル)で明瞭に聞こえる場内放送システムを備えること	◎	◎		
9.スコアボード (大型映像装置)	チーム更衣室などに一般用の放送が入らないよう切り替えができること	◎	◎		
10.時計(45分計)	大型映像装置を設置すること	○	★		
11.メンバー掲示板	得点を表示できるものを設置すること	-	◎		
12.掲掲ポールまたはハト	0～45分間表示できる独立した時計を設置すること(スコアボードでの兼用可)	◎	◎		
13.時計(45分計)	時計は、前半は0～45分、後半は45分～90分の間作動しなくてはならない 前後半それぞれの通常の競技時間の最後、45分と90分に、時計が止められなくてはならない	◎	◎		
14.メンバー掲示板	出場メンバーを表示できるもの(スコアボードでの兼用可)	◎	◎		
15.掲掲ポールまたはハト	3本以上設置し、VIP席から視認できること	◎	◎		
16.掲掲ポールまたはハト	5本以上設置すること	★★★	★		

必須とされる設備		内容	J1・J2基準	J3基準		
Ⅲ 諸室・スペース	Ⅲ. 各種室・スペースにおける共通項目		テーブル、椅子、電源、携帯電話用電波の確保、テレビモニター、高速インターネット環境、無線回線、時計 該当項目は【共通】で表示	★	★	
	1 観技関連	(1) チーム更衣室【共通】	2室 25人以上の更衣設備を備えること(ACLは30人) 温水シャワー8基以上、マッサージ台、洋式トイレ、鏡付き洗面台、ホワイトボード、エアコンを設置すること(J3は数は問わず、これらが利用できれば良い) 120㎡程度 ピッチまでの距離が等距離であること	◎ ◎ ★★★	◎ ◎ ★	
		(2) 審判更衣室【共通】	4人の更衣設備を備え、7人以上収容可能な部屋。追加副審(AAR)採用の場合、2名追加対応できること 温水シャワー、洋式トイレ、鏡付き洗面台、ホワイトボード、冷蔵庫、エアコンを設置すること(ACLは温水シャワー2基が必須) チーム更衣室から離して設置すること	◎ ◎ ★★★	◎ ◎ ★	
		(3) 室内ウォームアップエリア	チーム用	両チームが同時に別個に使用できること 人工芝であること	◎ ★	◎ ★
			審判用	審判が専用ウォームアップできるスペースを確保すること	★	★
		(4) マッチ・コーディネーション・ミーティング室【共通】	13人以上収容可能な部屋。追加副審(AAR)採用の場合、2名追加対応ができること チーム更衣室、審判更衣室の近くにあること エアコンを設置すること 応接セット、テレビモニター、録音再生装置を設置すること	◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ★★★	
		(5) ドーピングコントロール室【共通】	選手のプロバイダーが守られる場所に設置すること(観客、メディアが近づきにくい場所)及び可能な限りピッチから移動しやすいためであること			
			待合室、検査室(1~2室)、トイレ(1~2室)、温水シャワー(1室)が設備されていること			
			検査室は待合室から直接出入りできること			
			検査手続中、他の検査対象選手の目に触れることのないような構造であること	◎	◎	
			トイレは検査室から直接出入りできる、もしくは他の検査対象選手の目に触れることなく出入りできること			
			エアコンを設置すること			
		(6) VAR用カメラ設置スペース	新たに設置・改修する際には、設計時にJADAへ相談すること			
			検査室:作業机と椅子4脚(4脚中1脚は肘かけ・キャスター付き)、冷蔵庫(検体一時保管用)、鏡付き洗面台(検査室内またはイレイン)	◎	★★★	
			トイレ:2名が入っても十分な広さ(例・障がい者用トイレ等)			
待合室(1室:12名以上収容可能)						
10名程度が座れる椅子またはソファ、4名の選手が書類作業できる机、冷蔵庫(飲料用)、テレビ、DVD等録音再生装置(椅子は選手が汗をかいたまま座れるもの、テレビは当日の試合状況が確認できること)	★★★		★★★			
温水シャワー:選手が使用中、検査員が濡れることなく扉を開けた状態で選手の監視が可能な構造 トイレの便器横には、検体が置けるような台(トイレトベーパーホルダーの上が平坦、または小さな台が設置されていること 洗面台には、検体が置けるような台が設置されていること 温水シャワーは待合室から直接出入りできる位置に設置すること			★	★		
2 運営関係	(1) 運営本部室 ※【共通】	VARを実施する場合、VAR用カメラ設置スペースを確保すること。カメラスペースは、1台につき4mの広さが望ましい(メインスタンド中央部、メインスタンド両側のペナルティエリアのライン延長線、両ゴール裏中央部においては、中継カメラ設置スペースとの兼用)	◎	★		
		メインスタンド両ゴールライン延長線に各1台分 前列の観客により視野を妨げないように設置すること	◎ ◎	★ ★		
	(2) 記録室【共通】	高速コピー機、ホワイトボード、エアコンを備えた運営本部室を設置すること テレビ、監視カメラモニターを設置すること	◎ ★★★	◎ ★★★		
		100㎡程度 チーム更衣室、審判更衣室への連絡用プザーを設置すること 場内放送室、大型映像操作室、記録室、第4の審判員ベンチとの有線インカム(ヘッドセット)を設置すること	★★★ ★ ★	★ ★ ★		
	(3) 場内放送室【共通】	ピッチ全体が見渡せることができ、雨に濡れない席であること	◎	◎		
		LAN回線、テレビモニター、録音再生装置を設置すること	◎	◎		
	(4) 大型映像操作室【共通】	原則、個室であること	◎	★★★		
		4人が原則、横に並んで座れる広さであること エアコンを備えること	◎ ◎	★★★ ★★★		
	(5) 警察・消防司令室兼控室 ※【共通】	エアコンを備えた場内放送室を設置すること	◎	◎		
		大型映像装置と連携できること	◎	★		
	(6) 医療室 ※【共通】	ピッチ、観客席全体および大型映像装置が見える場所に個室で設置すること	★★★	★★★		
		3人が横に並んで座り、マイクや書類を置く机および機材を設置できる広さであること 窓は開閉できるようにすること	★★★ ★★★	★★★ ★★★		
	(7) その他	ピッチ、観客席全体および大型映像装置が見える場所に個室で設置すること	○	★		
		場内放送システムと連携できること エアコンを備えること 窓は密閉してあること	○ ○ ★★★	★ ★ ★		
3 VIP関連	(1) VIP受付	エアコンを備えた警察・消防司令室兼控室を設置すること 観客席全体が見渡せる場所に設置すること 監視カメラモニター、専用トイレを備えること	◎ ★★★ ★	◎ ★★★ ★		
		ベッド、冷蔵庫、エアコン、AEDを備えた医療室を設置すること	◎	◎		
	(2) VIPラウンジ【共通】	製氷機、洗面台を設置すること 緊急車両用駐車場に直接アクセスできること	◎ ★★★	◎ ★★★		
		50㎡程度	★★★	★		
	(3) ビジネスラウンジ【共通】	ごみ集積所を設置すること	◎	★		
		セキュリティスタッフ控室、ボランティヤスタッフ控室、ボールパーソン更衣室、エスコートキッズ控室、前座試合用チーム更衣室、*明確化のため	★	★		
	(4) スカイボックス【共通】	マスク、演出関係控室、現金管理室、VIP接遇スタッフ控室等 監視カメラを入場ゲート、観客席、コンコース(売店、トイレ、喫煙スポット前)が見えるように設置すること	★ ★	★ ★		
		(5) バントリー	VIP用の屋根付き専用入口と受付を設置すること VIP用駐車場から直接アクセスでき、メディアのアクセスを規制できること	★★★ ★	★ ★	
	(6) スカイボックス【共通】	VIP席から直接アクセスできること	★★★	★		
		大容量高速通信設備(高密度Wi-Fi等)が利用できること	★★★	★		
(7) バントリー	VIP専用トイレを設置すること	★★★	★			
	車椅子のVIPに備えた施設にすること	★	★			
(8) スカイボックス【共通】	ビジネスシートを備えたビジネスラウンジを複数設置すること	★★★	★★★			
	個室のラウンジと観客席を備えたスカイボックスを複数設置すること	★★★	★★★			
(9) バントリー	VIPラウンジ、ビジネスラウンジ、スカイボックス用のバントリーを設置すること	★★★	★★★			

必須とされる設備		内容	J1・J2基準	J3基準		
4 メディア関連	(1)メディア受付	メディア用の屋根付き専用入口と受付を設置すること メディア用駐車場から直接アクセスできること	★★★	★★★		
	(2)記者室 【共通】	ノートパソコン、ノートが置ける十分な広さの机を備えた記者室を設置すること	◎	◎		
		公式書類用ラック、冷蔵庫、エアコンを設置すること	◎	◎		
		80人以上収容可能な部屋 テレビ、録画再生装置を設置すること 大容量高速通信設備(高密度Wi-Fi等)が利用できること 選手、監督等テクニカルスタッフ、VIP、観客と分離した、記者席、記者会見室への動線があること	★★★	★		
	(3)カメラマン(フोटograフアー、TVクルー)室 【共通】	エアコンを備えたカメラマン室を設置すること ピッチへの容易なアクセス動線が確保できること(記者室との兼用可) 40人以上収容可能。カメラ用ロッカー、冷蔵庫を設置すること 大容量高速通信設備(高密度Wi-Fi等)が利用できること	◎	◎		
	(4)記者会見室 【共通】	音響設備、マイク(司会用、監督・選手用、通訳用、質疑応答用)、エアコンを備えた記者会見室を設置すること バックパネルを設置できること	◎	◎		
		監督・選手用ステージ台(前部)、テレビカメラ台(後部)を少なくとも一方設置すること 出入口は、監督・選手用とメディア用を分けて設置すること 200㎡程度 大容量高速通信設備(高密度Wi-Fi等)が利用できること	★★★	★★★		
		チーム更衣室とチーム用駐車場との間で、記者室、カメラマン室、記者会見室よりアクセスしやすい場所に設置すること バックパネル、棚が設置できること	◎	◎		
	(6)フレッシュインタビュー・ポジション	ピッチとチーム更衣室の間に、3m×3mのスペースを設けること バックパネルが設置できること	◎	◎		
	5 中継関連	(1)実況放送室 (テレビ、ラジオ) 【共通】	ピッチ全体が見渡せること。また、テレビモニターや書類を置く机および機材を配置できる広さであること。テレビ中継を行う部屋については原則、4人が横に並んで座れること 適切な施設がスタジアム内に存在しない場合、実況放送のためにスペースを割り当てるものとし、その場合、観客席、記者席等と隣り合う可能性がある 中継に必要な十分な電源を備えていること	◎	◎	
			新設の場合は、ドアの下にケーブル用の通線口があること(館内共聴の場合、中継端子盤がある場合は不要) 窓がフルオープンになること エアコンを備えること	★★★	★★★	
			5箇所(テレビ3箇所、ラジオ2箇所)設置できること シャッターを備えること C型コンセント(30A)を2系統および端子盤を備えること	★★★	★	
中継を行なうスタッフの控室を設置すること エアコンを備えること 複数用意すること			◎	◎		
(3)テレビ中継カメラ 設置スペース		メインスタンド中央部に4台分を確保し、TV中継カメラクルーが使用するに十分な電源を設置すること。カメラスペースは、1台につき4㎡の広さが望ましい 前列の観客により視野を妨げられないように設置すること メインスタンド両外側のベネチアエリアのライン延長線に各2台分(2局×1台×両サイド:計4台) 両ゴール裏中央部に各2台分(2局×1台×両サイド:計4台) バックスタンドコーナー付近のジューブが指定する位置に中継カメラ設置スペースを確保すること メインスタンド中央部、メインスタンド両外側のベネチアエリアのライン延長線、両ゴール裏中央部にカメラ台を設置すること	◎	◎		
		メインスタンド中央部に設置し、ENGカメラクルーが使用するに十分な電源を設置すること。カメラスペースは、1台につき4㎡の広さが望ましい 前列の観客により視野を妨げられないように設置すること 10柱分を設置すること	◎	◎		
		放送用機材等 設置スペース	スタジアムからテレビ局および中継基地へ試合中継映像を伝送するためのアンテナを設置するスペースを確保すること(アンテナ/アンテナ搭載車両/光ファイバー用端末) 衛星へ伝送するためのアンテナ搭載車両設置スペースを確保すること	◎	◎	
		光回線の設置	中継映像等を伝送するための光回線を設置すること	◎	◎	
6.看板関連		(7)ケーブル敷設 スペース	中継車とテレビカメラおよび実況放送室間に設置すること 観客や車両にケーブルが踏まないこと 端子盤を備えること	◎	◎	
		(1)搬入口	看板設置により、観客席の視界を妨げないこと 看板設置面が平坦であり、看板類が設置できないほど傾斜を急にしないこと 回転式もしくは電光看板操作を行う場所として、雨風がしのげ、ピッチが見渡せる位置に十分な作業スペース(約3㎡)と電源を確保すること 看板の後ろにポール・ラックやカメラマンが行き来できるスペースを確保すること ピッチ周辺に看板を乗せた台車が通れる動線を確保すること 電光看板用の専用電源(特殊)があること	◎	◎	
			(2)エスカレーター	観客の待機列と交わらず、急な坂道になっていない搬入口が複数あること 大型トラックや大型トレーラー(長さ16m)が入り出できるだけの幅、高さがあること	★★★	★★★
(3)エレベーター			VIP、ビジネスラウンジ、スカイボックス用 記者席、実況放送席用 車椅子席、VIP、ビジネスラウンジ、スカイボックス用 テレビ中継カメラ用、ハンドリー、売店用	★	★	
IV アクセス関係	1.スタジアムへのアクセス	次の条件のいずれかを満たしていること (1) ホームタウンの中心市街地より概ね20分以内で、スタジアムから徒歩圏内にある電車の駅、バス(臨時運行を除く)の停留所、大型駐車場のいずれかに到達可能であること、または近い将来に到達可能となる具体的計画があること (2) 交通入口の多い施設(大型商業施設等)に隣接していること (3) 上記のほか、観客の観点からアクセス性に優れていると認められること	★★★	★★★		
		2.駐車場	(1)一般用	公共交通機関が充実していない場所では、入場可能数に見合う台数の駐車場を確保すること 車椅子用のゲートにアクセスしやすい場所に設置すること	◎	◎
			(2)車椅子用	車椅子用駐車場は、車椅子席と同数設置すること	◎	◎
	(3)団体バス用		ツアーバスが駐車できるスペースを確保すること	★★★	★★★	
	(4)チーム用		1チームあたり、大型バス1台、ワゴン車2台分のスペースをチーム入口付近に確保すること(ACLJは大型バス1台、4tトラック1台、乗用車1台)	◎	◎	
	(5)緊急車両用		警察、消防、救急車等の緊急車両用の駐車場を確保すること 救急車がピッチ内まで入れる動線を確保すること	◎	◎	
	(6)VIP用		VIP受付にアクセスしやすい場所に設置すること VIP席の数に見合う駐車場を確保すること	◎	◎	
	(7)メディア用		撮影機材などの荷物が多いメディア用の駐車場を確保すること	★★★	★★★	
	(8)テレビ中継用		2局分の中継車、衛星車、電源車、機材車、支援車が駐車できるスペースを確保すること 放送ブースに近接し、ケーブルの敷設に問題ない場所を確保すること 電源、端子盤、館内共聴を設置すること	◎	◎	
	(9)大型トラック用		広告看板などの大型輸物を設置・撤去する大型トラック用の駐車場を確保すること スタッフのために十分な駐車スペースを確保すること	◎	◎	
	(10)売店用		売店用、ケータリング搬入車両は、スタジアム内部の搬入口に近い場所に設置すること 夏季は、飲食物用の保冷車の駐車場も考慮すること	◎	◎	
	(11)VAR用	J1はVOR(ビデオ・オペレーション・ルーム)用車両(トラック)の駐車場を確保すること	◎	-		
(12)シャトルバス用	シャトルバスを運行する場合は、シャトルバスのバスプールを設置すること	★★★	★★★			
(13)その他関係者用	その他関係者に必要な駐車場を確保すること	◎	◎			
3.駐輪場	観客のための駐輪場を、アクセス環境に鑑みて設置すること	◎	◎			
4.シャトルバス乗降所	シャトルバスを運行する場合は、バスの行先別に待機列スペースがある乗降所を設置すること	◎	◎			
5.タクシー乗降所	メディア、VIP、関係者が利用できるタクシー乗降所を設置すること	◎	◎			

必須とされる設備	内容	J1・J2基準	J3基準
1.入場券売場 【共通】	入場ゲート付近に窓口を設置すること	◎	◎
	販売するチケットの席種、料金を掲示できること	◎	◎
	複数の窓口を設置すること	◎	★
	入場券購入者のための庇(ひさし)があり、雨に濡れないこと 施設でき、セキュリティが確保されていること	◎	★
2.入場待機スペース	外周全体は夜間でも安全が確保できる照明を設置すること	◎	◎
	ホーム用、ビジター用に分けて待機列が設けられる十分な広さを確保すること	★★★	★
	待機列が、関係者入口、撤入口と交差しないよう設けられるようにすること 雨に濡れないこと、日差しが避けられること	★★★	★
3.入場ゲート	スタジアム基本原則を定め、それらを観客が読めるように掲示すること。最低でも以下の情報を含まなければならない ①入場する権利、②試合の中止または延期、③禁止事項(自粛事項)、④座席のルール、⑤スタジアムから追放される事由、⑥緊急避難経路	◎	◎
	観戦エリアに応じた入場ゲートを設置すること(ビジターサポーターの分離)	◎	◎
	屋根・電源・照明を設置すること	◎	◎
	手荷物検査、ピン、缶を移し替える設備があること ワンタッチパスが設置できるスペースがあること 車椅子用の入場ゲートがあり、スロー等で車椅子席にアクセスできること 手荷物預かり所を設置すること(ベビーカー、ヘルメット等)	◎	◎
4.案内サイン	できるだけ高い位置に、和英で表記し、夜間でも確認できること	★★★	★★★
5.総合案内所 【共通】	観客用ゲートなど、分かりやすい場所に設置すること 運営本部室と連携が取れ、迷子、落し物対応ができること	◎	◎
6.救護室 ※【共通】	どの席からもアクセス可能な場所に複数設置し(仮設でも可)、応急セットを備えること	◎	◎
7.AED	医務室に1台および、救護室もしくは観客エリアに2台以上(J3は1台以上)備えること	◎	◎
8.授乳室【共通】	どの席からも誘導でき、アクセス可能な場所に設置すること	◎	◎
9 トイレ	どの席からもアクセスが容易な場所に、男女別のトイレ設備を十分に設置すること	◎	◎
	1,000人の観客に対し、少なくとも洋式トイレ5台、男性用小便器8台を備えること(Jリーグクラブライセンス交付規則 施設基準 B等級)	★★★	★★★
	(1)トイレ 洗面台が設置されていること ハンドドライヤー、おむつ換えペッドを設置すること	★★★	★★★
	(2)多目的トイレ 車椅子席の近くに、席数に応じた数を設置すること (3)場外のトイレ 開門前に使用できるトイレが観客用ゲート付近にあること	◎	◎
10.コンコース	緊急避難用の動線を確保すること 十分な広さがあり、適度な明るさが保たれていること トイレ、飲食売店、グッズ売店、救護室、授乳室が設置されていること 屋根で覆われていること 必要に応じて公衆電話を設置すること	◎	◎
	★★★	★★★	
	★★★	★★★	
	★★★	★	
11.通路、階段	観客エリア内のすべての一般用通路、階段、扉およびゲートは、明るい色で塗装すること。観客席からフィールドへ移動するためのゲートも含まれる スタジアム内のすべての出口、ゲートおよび観客席からフィールドへ移動するためのゲートは観客席からみて外側に開くよう設置し、施設装置が取り付けられていること	★	★
	★	★	
12.飲食売店	どの席からもアクセス可能な場所に屋根付きで適正な数が設置されること 売店外装に企業名・ロゴ、メニュー、料金表示できること 温かい飲食物が提供できること 電源・照明が確保されること(スタジアム外周、コンコースを含む)	◎	◎
	◎	◎	
	◎	★★★	
	◎	★★★	
13.グッズ売店	待機動線がトイレと近くないよう設置場所に配慮すること どの席からもアクセス可能な場所に屋根付きで適正な数が設置されること 電源・照明を設置すること	◎	◎
	◎	★★★	

※入場可能数：ホームゲーム開催時に使用可能な数を指し、下記(1)、(2)、(3)の合計数とする。

(1) 入場券が発券できる座席の数

- イ. 見切り席、常設の記者席、実況放送室等の座席は含まない。
- ロ. 常設の飛び降り防止エリアの座席は含まない。ただし当該エリアが調整可能な場合は数に含む。
- ハ. ホームクラブとビジタークラブの観客間の緩衝地帯の座席数は含むが、常設の緩衝地帯の場合は含まない。

ニ. 立ち見エリアは施設管理者と協議の上入場可能な数とするが、新設及び大規模改修を行うスタジアムについては、観客席数の立ち見席は1段あたり1人とし、1席の幅は45cm以上、段床の奥行は80cm以上とする。

(2) 前号以外の座席の数

- イ. 常設のVIP席。
- ロ. 個室ラウンジ付きの観戦エリアは、テラスにある座席の数とする。個室ラウンジ内の座席数は含まない。

(3) 車椅子席の数

- イ. 車椅子観戦エリアは座席がないが、車椅子1台につき1席と数える。
- ロ. 車椅子のヘルパー席は、常設の椅子が設置され、かつ実際に使用されている場合のみ数に含める。

※ハイブリッド芝：ピッチ全体が天然芝と5%以下の人工芝を合わせたもの

- (1) 導入前に、ピッチ外でハイブリッド芝の実証実験を実施すること
- (2) 実証実験の結果をもとに、導入に関して理事会の承認を得ること

※運営本部室：以下の機能を満たし、警界・消防指令室と常に連携できる状態であること

- (1) 試合運営を統括できること(記録室、場内放送室、大型映像装置操作室関連を含む)
- (2) 警備員、係員、ボランティアスタッフ等の自主警備による場内外コントロールを統括できること
- (3) チケットコントロールができること
- (4) 交通アクセスのコントロールができること
- (5) 天候等、試合運営に関する情報を集約できること

※警界・消防指令室：以下の機能を満たし、運営本部室と常に連携できる状態であること

- (1) 警界・消防による監視司令ができること
- (2) 緊急部隊、緊急車両の発動が指示できること

※医務室：場内外の医事運営を統括でき、救護室と常に連携できる状態であること

※救護室：主として場内の観客を対象とした応急措置ができ、医務室と常に連携できる状態であること

※【共通】：各諸室・スペースにおける共通項目適用箇所

※スタジアムの名称については、正式名：漢字全角35文字以内・英字半角35文字以内、略称：漢字全角4文字以内・英字半角15文字以内で定めること